ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

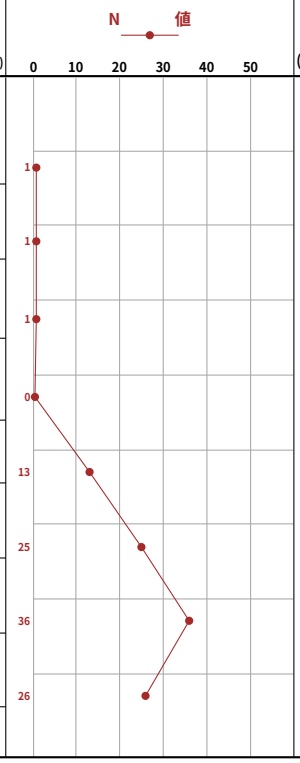
シートNO.

ボーリング名	B-3	調査位置						北　緯	36 ° 19 ’ 51.0000 ”
発 注 機 関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2007-02-19 ～ 2007-02-20			東　経	139 ° 49 ’ 40.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	40.99 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	8.45 m							試 錐 機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	39.19	1.80	1.80		シルト (M)	暗褐		非常に軟らかい	最上部30cmは耕作土。 腐植物が混入する。 含水量は多い。 GL-0.7m以深は粘土質である。		02/19 1.85
2	38.64	0.55	2.35		粘土質ローム (Lm)	茶褐			層相不均質。腐植物が混入し、局部的に砂層が介在。含水・粘性大		
	38.34	0.30	2.65		軽石 (Pm)	灰白			径1～3mmで強風化状。含水極大		
3					有機質粘土 (CHO)	褐灰			上部は腐植物の混入が多い。 中部は微細砂が混入する凝灰質粘土状。 下部は部分的に軽石片や、局部的に砂が多く混入する。 含水量は多く、粘性は強い。		
4											
	36.19	2.15	4.80								
5	35.29	0.90	5.70		砂質シルト (MS)	暗灰		硬い	上部は細砂が混入する。 以深、細砂の薄層が介在する。 含水量は多く、粘性は強い。		
6					礫混り砂 (S-G)	暗灰	中ぐらい		細砂～中砂が主体。 径3～15mmの亜円礫,亜角礫が混入する。 GL-6.5m以深、深度が増すに従い粒子が粗くなり、7m下部では粗砂が主体。 GL-7.8m以深は礫の混入が多い。		
7											
8	32.54	2.75	8.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.00	0/30	1/15		1/45	1
1.45					
2.00	0/30	1/15		1/45	1
2.45					
3.00	0/30	1/20		1/50	1
3.50					
4.00	0/20	1/40		1/60	0
4.60					
5.15	3	5	5	13/30	13
5.45					
6.15	9	7	9	25/30	25
6.45					
7.15	11	13	12	36/30	36
7.45					
8.15	9	9	8	26/30	26
8.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/19
						02/20